

+.....+

【ケアプロ通信vol.64】

2月度ニュース:「Z会」にケアプロが出題されました！

+.....+

いつも大変お世話になっております。

みなさんは、オリンピックはご覧になりましたか？

オリンピックは閉会しましたが、来月9日にはパラリンピックが開催されます。

まだまだオリンピックの熱は冷めないですね。

アスリートの方は、オリンピックでメダルを取ることを目標に、努力をしていますが、

日本の代表として、オリンピックの舞台に出る、ということが並大抵のことではないと思います。

メダルを取った方にも、残念ながら取れなかった方にも、みなさんに敬意を表したいです。

オリンピックの精神とは

「スポーツを通して心身を向上させ、文化・国籍などさまざまな違いを乗り越え、

友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって、平和でよりよい世界の実現に貢献すること」

ということです。

次は、東京オリンピック。

2年後はどんな熱気に包まれるのか今からとても楽しみです。

それでは、2月度のニュースをお送りいたします。

+.....INDEX.....+

【1】代表 川添高志 「Z会に、ケアプロが出題」

【2】 予防医療事業部

□□1)北区での取り組みを行っております！

□□2)これからの催事場報

【3】 在宅医療事業部

□□1)事業部長が交代しました！

□□2)雨にも負けず、雪にも負けず24時間365日訪問看護提供！

+.....+

+……………代表 川添高志からのメッセージ……………+

東大受験で有名な「Z会」に、
ケアプロが出題されました。
(中高一貫の中3対象)

ソーシャルビジネスについて出題することになり、
ケアプロに注目されたということで連絡がありました。

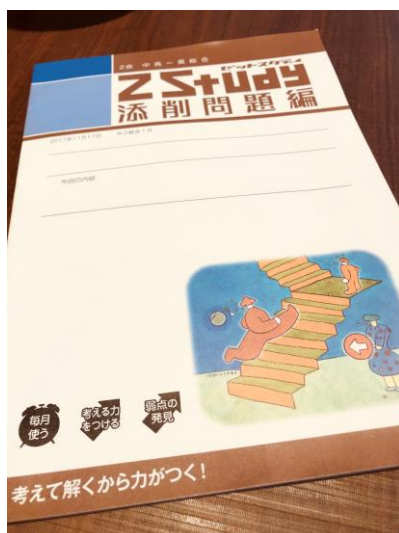
徳川家康、第一次世界大戦など
様々な社会の問題がありますが、
ケアプロもいつか教科書に載るかもしれません。

今回の問題を解いてみると難しく、
・経営者の役割と利益の持つ意味を考察する問題
・ソーシャルビジネスとボランティアの違い
・ソーシャルビジネスの価値や行動規範の問題
などがありました。

そして、解説に下記のメッセージがありました。

「皆さんなりの方法で、社会的課題について知り、
共感し合い、その解決のための一助になってもらえればと思います。」

出題者が何を問うか、という教育方針は、
改めて大切だと思いました。



+……………予防医療事業部長 落合拓史からのメッセージ……………+

1)北区での取り組みを行っております！

先日facebookでも共有させていただきました北区との取り組みをご紹介します。

30代の方向けに血液検査を提供する本イベントは、ちょうど行政としてもアプローチしたい層にぴったりのものになっていると思います。

全3回のもので、今年は1月28日(日)と2月24日(土)に開催いたしました。

(実績データはこちら)

http://carepro.co.jp/about/kita-ku_event.pdf

2)これからの催事場報

寒さが厳しい日々が続きますが、体調など崩されていませんか。

ケアプロの出張催事はこれからまた小田急沿線等に出て行きます。お近く通りなられる際は、ぜひご利用くださいませ。

(直近の日程はこちら)

- ・2/24～25: マルイシティ横浜
- ・3/1～7: 小田急線 新宿駅
- ・3/8～14: 小田急線 藤沢駅

(詳細はこちら)

http://carepro.co.jp/onecoin/general/shop_event/



+……………在宅医療事業部長 金坂宇将からのメッセージ……………+

1)事業部長が交代しました！

この度、事業部長が前田和哉から金坂宇将に変わりました。

私、金坂は足立ステーションで所長を2年間務めていました。
先代達の築いてきた歴史を受け継ぎ、スタッフの皆と共同して、
より良い事業部を作っていきたいと思っています。

引き続きケアプロ訪問看護ステーション東京と、
ケアプロ在宅支援センター東京をよろしくお願い致します。



2)雨にも負けず、雪にも負けず24時間365日訪問看護提供！

先日、1/22は23区でも20cmを超える大雪でした。
ケアプロ訪問看護ステーション東京では、利用者様より配慮の
お電話お頂戴したり、早朝から所長・副所長がスケジュールの
再構築を行いました。

私たちが訪問をさせて頂いていらっしゃる方は、連日の訪問看護を
必要としている方も多くいらっしゃいますので、看護を必要とする
方々には、大雪でも、嵐でも、休まず訪問を行っております。

ケアプロが24時間365日の訪問看護の提供体制が取れているのは、
利用者様からのご理解やご協力や、前向きな現場スタッフや、
管理者、交通インフラを支えてくださっているみなさまなど、
多くの方々の支えがあってこそと改めて思います。

改めて、多くの方々に感謝申し上げたいと思います。

